

小規模企業景気動向調査

[2008年10月期調査]

～製造業大幅悪化！原材料高・輸出減により 後退を続ける 小規模景況～

平成20年11月18日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2008年10月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

10月期の小規模企業景気動向調査によると、産業全体の業況DIは、マイナス72.7となり、70台という最低の水準に戻った。産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス60.6(前月比マイナス6.2ポイント)、採算がマイナス71.2(同マイナス3.8ポイント)、資金繰りがマイナス66.1(同マイナス5.1ポイント)、業況がマイナス72.7(同マイナス4.8ポイント)である。需要減、円高、株安などのトリプル要因に加え、米国金融不安の国内への影響が懸念されている事態。現状においても景況は厳しい上に、ダメ押しともなるマイナス要因は地方経済をどこまで悪化させるのか、～製造業大幅悪化～という基調判断により、さらに後退を続ける今期の小規模景況である。

<製造業>

製造業については、売上額がマイナス55.0(前月比マイナス10.2ポイント)、採算がマイナス70.7(同マイナス1.9ポイント)、資金繰りがマイナス64.3(同マイナス6.3ポイント)、業況がマイナス71.4(同マイナス6.1ポイント)となった。売上額、採算、資金繰りがすべて悪化しており、特に売上額DIは前月比マイナス10.2ポイントであり大幅悪化である。自動車関連の製造業はここにきて、急速に悪化。「海外の動向が相当減少してきており、円高のあおりを受け派遣社員の更新打ち切りが相次いでおり、先の見えない不安感が一層ましてきている。」「自動車関連の部品製造業は、受注減及び原材料高騰により売上、採算ともに悪化している。」といったコメントが多数寄せられている。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス75.7(前月比マイナス1.4ポイント)、採算がマイナス86.0(同マイナス1.3ポイント)、資金繰りがマイナス82.7(同マイナス0.9ポイント)、業況がマイナス88.4(同マイナス2.2ポイント)となった。DI数値を見る限り、4項目 足下はマイナスではあるが、小幅悪化圏内である。また「土木・建設関連業は官民ともに工事がなく、業者はリストラなどにより耐え忍んできたが、それも限界を超えた状況といえる。年末を迎え危惧する事業所が多く、更に金融機関の対応等融資事情は最悪といえる。」といった声も聞かれる。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス59.0(前月比マイナス3.6ポイント)、採算がマイナス68.6(同マイナス5.3ポイント)、資金繰りがマイナス63.1(同マイナス5.2ポイント)、業況がマイナス71.0(同マイナス5.7ポイント)となった。売上額DIはマイナス3.6ポイント小幅悪化。採算・資金繰りDIは大幅悪化である。すべての業種において仕入単価が上昇しているため、採算・資金繰りが悪化しているといえよう。特に食品では「中国製品をはじめとし、農薬等の混入物が入っていた商品では消費者の買い控えにより売上が激減となった。」前月期に続き「バナナダイエット流行のため、バナナの流通がほとんどありませんでした。」という変り種のコメントも見受けられた。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス52.4(前月比マイナス9.3ポイント)、採算がマイナス59.4(同マイナス6.5ポイント)、資金繰りがマイナス54.0(同マイナス7.7ポイント)、業況がマイナス59.9(同マイナス5.4ポイント)となった。主要DI3項目は、今期大幅に悪化した。しかしながら一部地域限定ではあるが、「行楽地の施設・ホテル旅館・飲食店等は、仙台・宮城ディスティネーションキャンペーン効果と良好な天候が続いていることから、久しぶりに賑わいを見せている。」といった明るいコメントも見受けられた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲54.4	▲60.6	▲6.2	▲44.8	▲55.0	▲10.2	▲74.3	▲75.7	▲1.4
採算	▲67.4	▲71.2	▲3.8	▲68.8	▲70.7	▲1.9	▲84.7	▲86.0	▲1.3
資金繰り	▲61.0	▲66.1	▲5.1	▲58.0	▲64.3	▲6.3	▲81.8	▲82.7	▲0.9
業況	▲67.9	▲72.7	▲4.8	▲65.3	▲71.4	▲6.1	▲86.2	▲88.4	▲2.2

業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲55.4	▲59.0	▲3.6	▲43.1	▲52.4	▲9.3
採算	▲63.3	▲68.6	▲5.3	▲52.9	▲59.4	▲6.5
資金繰り	▲57.9	▲63.1	▲5.2	▲46.3	▲54.0	▲7.7
業況	▲65.3	▲71.0	▲5.7	▲54.5	▲59.9	▲5.4

注) D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

【連絡先】：組織強化対策室 景況・景気動向調査グループ 岡本

TEL:03-3503-1251(内線247)

E-mail:keikyo@shokokai.or.jp